

問1 法隆寺などの寺院が建立され始めた時期、日本の歴史的背景における建築物の変遷について説明した文として最も適切なものはどれですか。

(2022年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 狩猟採集の生活から稲作を中心とする生活へ変化したことで、共同体の食料を保管するための高床倉庫が寺院へと発展した。 | 2. 律令制度の確立により、すべての有力者は墓造ることを禁止され、代わりに都へ移住することが義務付けられた。 | 3. キリスト教の伝来により、各地の有力者は伝統的な墓の形式を捨て、教会を模した石造りの建築物を好むようになった。 | 4. 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。 |
|---|--|---|--|

問2 4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何といいますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教伝来など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。

(2020年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 1. 魏 | 2. 高句麗 | 3. 百済 | 4. 新羅 |
|------|--------|-------|-------|

問3 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百済が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 1. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった | 2. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた | 3. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ | 4. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた |
|-------------------------------------|--|--|---------------------------------------|

問4 4世紀から6世紀にかけて朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、仏教のほか、機織り、土木、金属加工といった大陸の進んだ技術を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。

(2024年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 渡来人 | 3. 防人 | 4. 御家人 |
|--------|--------|-------|--------|

問5 大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。

(2023年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。 | 2. 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。 | 3. 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。 | 4. 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。 |
|--|---|---|---|

問6 古墳時代の文化において、古墳の頂上や周囲を囲むように並べられた、円筒の形や人間、家などの形を模した土製の焼き物を何といいますか。

(2024年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 銅鐸 | 2. 土偶 | 3. 埴輪 | 4. 須恵器 |
|-------|-------|-------|--------|

問7 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。

(2026年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 防人 | 2. 弥生人 | 3. 渡来人 | 4. 縄文人 |
|-------|--------|--------|--------|

問8 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。

(2014年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|--------|------------|----------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 卑弥呼 | 3. ワカタケル大王 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|--------|------------|----------|

問9 5世紀後半の日本列島において、大和政権の支配力が関東地方から九州地方にまで広く及んでいたことを示す歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。

(2019年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。 | 2. 白村江の戦いでの敗北を機に、関東から九州にかけて山城や防人が配置され、軍事的な中央集権化が進んだ。 | 3. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏から贈られた親魏倭王の称号を、地方の有力豪族に分け与えて統治した。 | 4. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、地方の豪族に対して大王への忠誠を誓わせる制度が全国に普及した。 |
|--|--|---|--|

問10 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2015年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。 | 2. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。 | 3. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。 | 4. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。 |
|--|---|---|---|

問11 4世紀から5世紀にかけて、近畿地方を中心に誕生した「前方が方形で後方が円形」という特徴を持つ巨大な墳墓が、九州から東北地方まで広く分布するようになった歴史的背景について述べたものとして、最も適切な説明を選択してください。

(2019年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 各地の豪族が、ヤマト王権に対抗するために独自に巨大な墳墓を築くことを競い合ったため | 2. 仏教の伝来によって、全国の豪族が共通の形式で墓を作る宗教的義務を負ったため | 3. ヤマト王権の支配力や政治的な影響力が、近畿地方から日本各地へと拡大したため | 4. 大陸から渡来した人々が、自分たちの故郷で一般的だった墓の形を全国に広めたため |
|--|--|--|---|

問12 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。

(2018年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと | 2. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと | 3. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと | 4. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問13 5世紀頃、大阪府堺市に築かれた大仙古墳（大仙陵古墳）のような巨大な前方後円墳が造られた歴史的な背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。

(2018年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 律令制度が確立し、戸籍に基づいて全国の民衆が大規模な土木作業に動員できるようになった。 | 2. 稲作が普及し、食料を貯蔵するための大規模な高床倉庫と一体化した墓が求められた。 | 3. 仏教の伝来とともに寺院建築の技術が導入され、それが大規模な墳墓の造成に利用された。 | 4. 「大王」と呼ばれる首長を中心とした大和政権（ヤマト王権）の権力が強化された。 |
|--|--|--|---|